

インターネット技術とその応用論文特集の発行にあたって



インターネット技術とその応用論文特集編集委員会

委員長 中村 豊

インターネットは、様々なサービスや活動の基盤として、社会を大きく変化させる原動力としてこれまで力強く発展してきた。更には、大規模災害等において重要なライフラインの役割も果たすなど、なくてはならない社会基盤としての地位を確立している。その一方で、マルウェアや標的型攻撃による情報漏洩といった社会基盤としての安全性についての課題がクローズアップされている。それに加え、インターネットを豊かな社会生活や新しい産業創出に活用する取組みも重要な課題となっている。

このような社会情勢を踏まえ、インターネットを持続的に発展させ、これらの社会的課題に 대응することを目的として、インターネット技術とその応用に関連する最新のアイデアや取組み、成果を集め、広く共有して議論すべく本特集論文を企画した。御投稿頂いた9編のレターと論文に対し、厳正な査読を行った結果、安全な新しいインターネット基盤を切り開くアーキテクチャの提案・実装等に関し、レター1編を含む4編の論文が採録された。

本特集の論文・レターは、アプリケーションからの要請を元にそれを支える安全なインターネットをどのように実現するかをテーマに著者の方々が得た成果を

論じており、アプリケーションとインターネット基盤を融合する上で重要な実用性の高い最新技術を知ることができる貴重なものである。インターネットを安全で創造的な社会基盤としていくには、アプリケーションとインターネット技術の相互連携が不可欠であり、本特集はその一つの形を提供している。本特集を契機として、アプリケーションと基盤技術の研究交流と研究コミュニティの活性化が進むものと期待している。

最後に、本特集の企画から発行にあたり、最新の成果を反映した原稿を御投稿頂いた執筆者の方々、御多忙の中で論文の査読に御協力頂きました査読委員の方々、企画・編集に御尽力頂きました編集委員会の方々、予定通りの発行に向け様々な御支援頂きました事務局の方々に深く感謝する。

なかむら ゆたか
 中村 豊 (正員) 平13奈良先端大・情報・博士課程了。同年阪大大学院・基礎工・リサーチアソシエイト。平14奈良先端大・情報科学センター・助手。平17九工大・情報科学センター・助教。博士(工学)。平成19同大・准教授、同大・ネットワークデザイン研究センター兼任、平成25同大・情報基盤運用室室長兼任、WWW技術、サーバ管理手法、インターネット計測技術、ネットワーク運用技術、ネットワークセキュリティに関する研究に従事。IA、ICSSの研究専門委員、電子情報通信学会、情報処理学会、WIDEプロジェクトメンバー各会員。

インターネット技術とその応用論文特集編集委員会

- | | |
|-----|------------------------|
| 委員長 | 中村 豊 |
| 幹事 | 吉田 健一・樋地 正浩 |
| 委員 | 池部 実・市川 昊平・臼井 健・衛藤 将史 |
| | 高倉 弘喜・伊達 進・友石 正彦・野林 大起 |
| | 松浦 知史・宮地 利幸 |